

## 事業の概況

### 事業の経過

創業9期目にあたる当事業年度は、スポーツ振興くじ(toto)販売等の新商品・サービスの導入、ヤフー株式会社との提携によるサービスの拡充や、お客さまの利便性、安全性を高めるサービスの導入を進めました。

経営体制につきましては、ITマネジメントに係るガバナンス向上に向けた取り組みを開始したほか、振り込め詐欺救済法への対応や、金融犯罪防止体制強化のための組織改正を実施いたしました。

### ■商品・サービスの導入 ・商品性見直し

2008年6月に、スポーツ振興くじ(toto)の受託販売「JNB-toto」を開始いたしました。高額の当せん金への注目も高く、販売は好調に推移しております。

2008年7月には、投資信託の販売を開始いたしました。当初、取扱商品4本で開始後、徐々に品揃えを拡充し、2009年3月現在の取扱商品は98本になりました。

外国為替保証金取引「JNB-FX」につきましては、2008年7月に価格競争力を高めるため取引手数料を改定したほか、2008年10月には、取引通貨ペアを4種追加いたしました。

### ■ヤフー株式会社との 提携サービス拡充

2008年8月に、Yahoo!オークションに電子マネー口座による新たな決済サービス「JNB電子マネー」を導入いたしました。「JNB電子マネー」の導入により、当社の普通預金口座を持たない方にも、より安全、便利にオークションの決済をご利用いただけるようになりました。

2008年11月には、Yahoo!ポータルサイトにおいてスポーツ振興くじ(toto)の販売「Yahoo!toto」を開始いたしました。「Yahoo!toto」はヤフー株式会社と当社の共同事業であり、「JNB-toto」の機能を活用しております。

### ■利便性・安全性の向上

2008年6月に、提携金融機関への振込時に受取人名を自動表示する「振込時受取人名確認」を開始しました。振込不能件数が減少し、お客さまの利便性向上に寄与するとともに、事務が効率化されました。

2008年10月には、1つの口座でトークン(ワンタイムパスワード)を複数持てるサービスを開始したほか、事前に指定した先への振り込みにはトークンによる認証を省略できる機能を提供する等、お客さまのご要望を踏まえたサービス改善を行いました。また、「ログインID」を設定する機能を追加し、ログインに使用する認証項目を増やすことで、お取引の安全性がより強化されました。

### ■経営体制

ITマネジメントに係るガバナンス向上につきましては、2008年8月に社内横断的なプロジェクトチームを組成し、プロジェクト管理や問題管理といった優先課題を中心に、手順や管理手法を改善する取り組みを開始いたしました。このうちプロジェクト管理につきましては、2008年11月にプロジェクトマネジメント会議を設置し、実際の新商品開発への適用を開始しております。

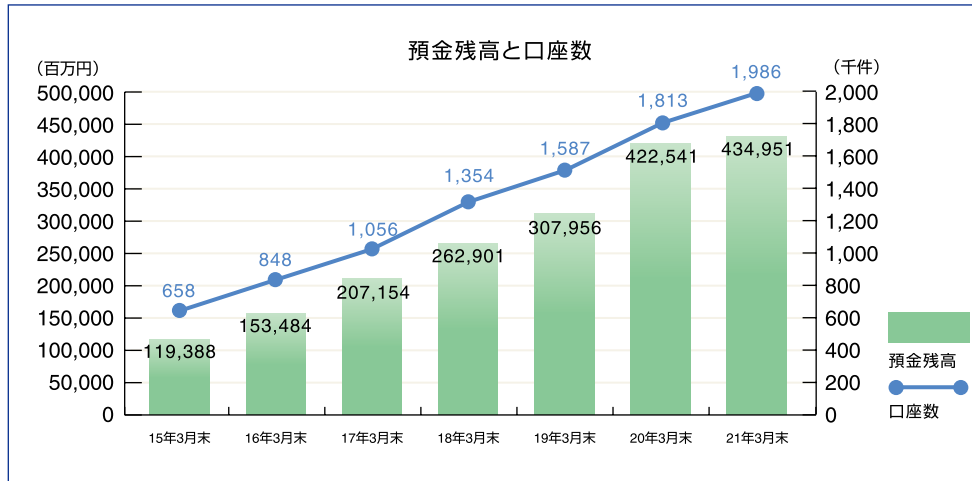
法令対応としましては、振り込め詐欺救済法への対応を進めたほか、株式会社三井住友フィナンシャルグループの重要な事業拠点として、金融商品取引法の内部統制報告制度(J-SOX)の初年度適用に向けた準備を実施いたしました。

組織体制につきましては、2008年5月に、WEBサイトの品質向上のためクリエイティブ・プランニング部を新設いたしました。2008年8月には、経営企画・管理、リスク管理、IT投資企画の機能を統合し、企画本部を新設いたしました。2008年12月には業務統括部に金融犯罪対策室を設置、2009年2月にはCS品質管理部を改組してモニタリングセンターを設置し、金融犯罪防止体制を強化いたしました。2009年3月には、ITマネジメントに係るガバナンスの向上等を目的としたIT本部の組織改正を実施いたしました。

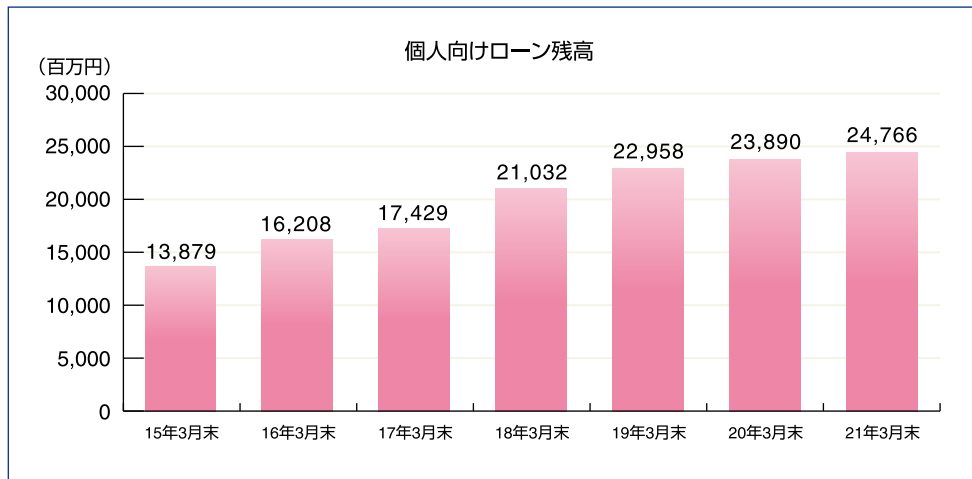
## 事業の成果

- **預金** 預金は、期中124億10百万円増加し、期末残高は4,349億51百万円となりました。このうち普通預金は、期中205億80百万円増加し、期末残高は2,450億37百万円となりました。
- **貸出金** 貸出金は、期中8億75百万円増加し、期末残高は247億66百万円となりました。これらはすべて個人向け貸出金であります。
- **有価証券** 有価証券は、期中106億44百万円増加し、期末残高は3,702億43百万円となりました。このうち国債は990億46百万円であります。
- **総資産** 総資産は、期中117億76百万円増加し、期末残高は4,853億74百万円となりました。
- **内国為替取扱高** 内国為替取扱高は、為替件数が増加する一方で1件当たりの平均金額が低下したことにより、前事業年度比10億1百万円減少し、6兆920億30百万円となりました。
- **損益の状況** 収益につきましては、預金の増加に伴う運用残高の増加により、資金収益が増加しました。公営競技等の決済手数料の増加やATM手数料、「JNB-toto」等の増収により、役務取引等収益が増加しました。一方で、国債等債券売却益の減少により、その他業務収益が減少しました。これらにより経常収益は、前事業年度比1億10百万円減少し、202億41百万円となりました。
- 費用につきましては、預金残高の増加により資金調達費用が増加したほか、ATM提携手数料等の増加により、役務取引等費用が増加しました。社員数の増加や新商品・サービス等の開始に伴い、営業経費が増加しました。一方で、有価証券運用のヘッジに伴う金融派生商品費用の減少、株式等売却損の減少により、その他業務費用、その他経常費用が減少しました。なお、有価証券の減損処理額4億96百万円を、その他業務費用に計上しております。これらにより経常費用は、前事業年度比9百万円減少し、195億37百万円となりました。
- 以上の結果、経常利益は7億4百万円、当期純利益は7億59百万円となりました。

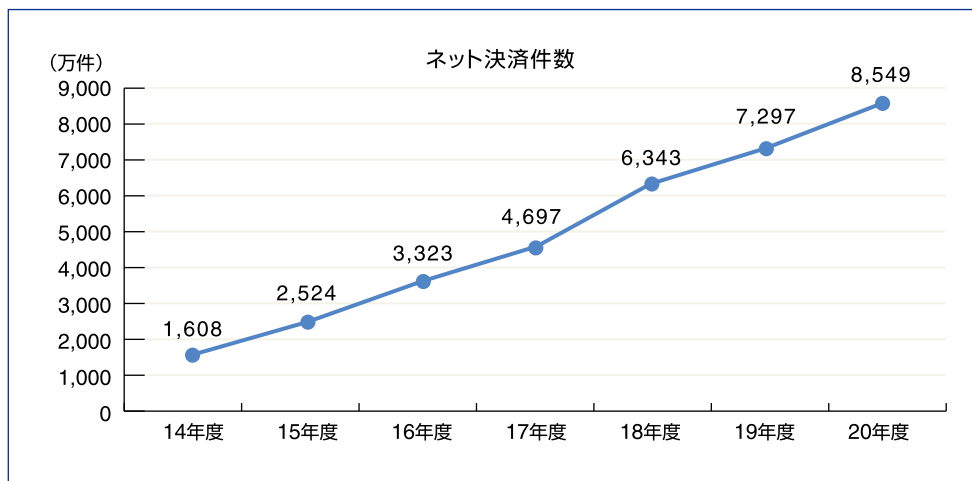
■預金残高と口座数の推移



■個人向けローン残高の推移



■ネット決済（通常の振込とXMLを利用した即時決済取引の合計件数）の推移



## ■当社が対処すべき課題

創業9周年を迎える本年、当社は経営環境の変化に対応し、さらなる成長を実現させるステージと位置付け、役職員一同、次のとおり努力してまいります。

第一に、お客さまの満足度向上、金融犯罪防止に、より一層注力いたします。お客さまのご要望等の分析強化やWEBサイトのリニューアル、不正口座対応の強化に取り組みます。

第二に、新商品・サービスの投入、既存サービスの改善による競争力強化・収益力強化に取り組みます。新たな決済サービスの導入や決済提携先の拡大、外国為替保証金取引「JNB-FX」やスポーツ振興くじ(toto)販売「JNB-toto」の商品性見直し、投資信託の品揃えの充実に取り組みます。

第三に、ヤフー株式会社との提携商品の改善、提携強化に取り組みます。「Yahoo!ネットバンキング」の機能改善等により、Yahoo!ユーザーにおける決済シェア向上を進めます。

第四に、経営資源の効率的な配分とコスト削減に取り組みます。経費の抜本的な見直し、投資効果の検証・評価体制の整備や業務の自動化・効率化に取り組み、ローコスト運営の確立を目指します。

第五に、システムの品質向上やリスク管理の高度化、内部監査の質的向上に取り組みます。ITマネジメントに係るガバナンス向上への取り組みを継続し、管理手法、管理体制の確立を図るほか、リスク計測の精緻化や機動的で有効性の高い内部監査の実施に取り組みます。